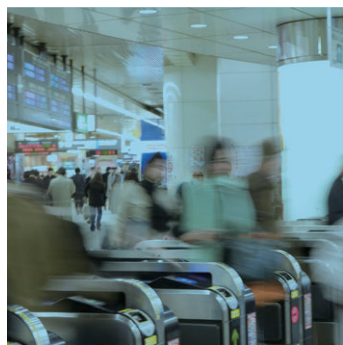
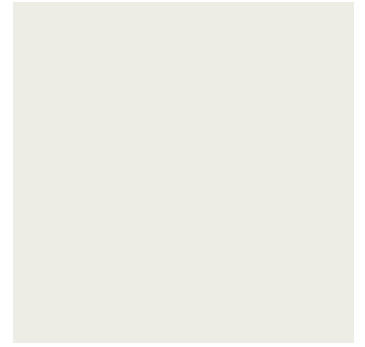




## 三上化工材株式会社



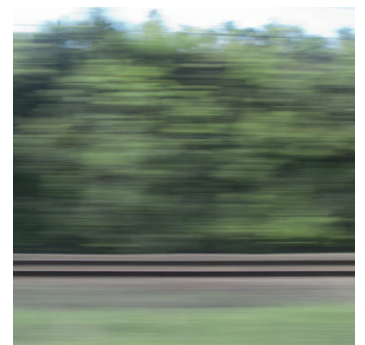


## 安全で快適な移動空間の明日をつくる

私たち三上化工材は昭和30年の創業以来、お客様に喜んでいただける製品やサービスをご提供することを最も大切に考え、その実現に向けて日々精進して参りました。

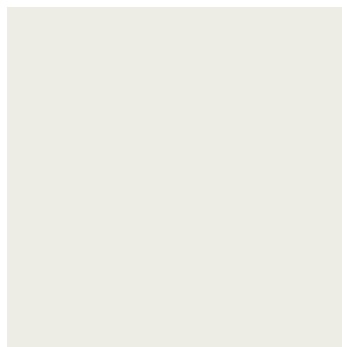
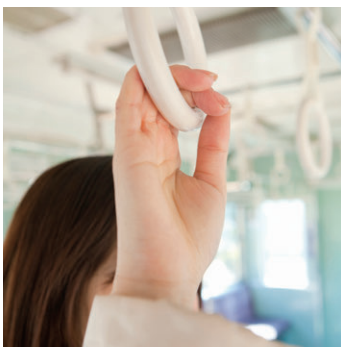
鉄道業界は社会のレベルと連動して、単なる輸送機関の役割だけでなく、「快適性」や「独自性」も求められるようになりました。さらに近年では鉄道産業のグローバル化に伴い、世界各国の規制や地域に合わせた製品・サービスなども必要になってきています。

このようにお客様から求められるニーズが多様化し、社会環境も大きく変わる中、三上化工材は、お客様に満足していただくため、全社一丸となり全員の英知を結集して、お客様の困りごとを解決し、新たな価値を創造し続けて、永続的に発展していく企業を目指しております。





車両用連結幌



車両用バランサー



# 製品の研究開発を通じて

## 事業案内

### 車両用つり手

オーソドックスなリングをはじめ、五角型・T型(おむすび型)など握りやすさを追求した製品、大きさ、太さ、色について研究し、とっさにつかみやすい安全性を高めたリング140型や、多彩な色や形を標準品としてご用意しております。

ご要望に応じて、様々な形状の試作品製作も行っております。

当社のつり手は、JRIS規格適合品の指定を受け、「安全」「安心」を確保するため、ベルトおよび部材の強度試験と破壊試験を随時行っています。その試験データの積み重ねと技術改良の継続により、現車経歴50年以上という実績を確立しました。



### 車両用連結幌

耐久性向上、メンテナンスの低減および遮音性を向上させた独自の技術を開発し、安全性、快適性も増えています。

当社が1975(昭和50)年より研究開発をスタートした「縫製糸を使用しない二重構造」のMK式Wタイプ幌は、その後の実車実験を経て、30年以上の現車実績があります。



### バランサー(工業所有権取得)

側開戸落し窓用のコイル式バランサーは窓の上部に取り付ける構造になっており、コイルバネ・本体・フレーム等の鋼材部の錆の発生が軽減されます。

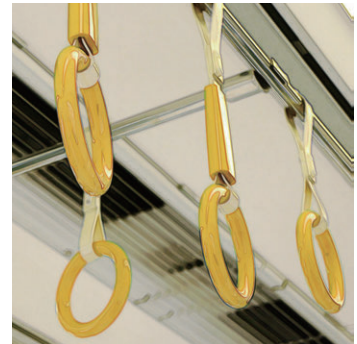
また主な摺動部分(カサ車・案内車・バネ受・ウォームホイール)は合成樹脂を使用することで、優れた耐久性を確保しています。

### 踏切用タレベルト(工業所有権取得)

遮断棒の下部に一定の間隔で垂れ下げることにより、歩行者のくぐり抜け事故防止の効果があります。



# 社会に貢献します



## 新しいMIKAMIの構築 ～過去から未来へ～

事業を通じてさまざまな問題を解決し、新たな価値を創造することで豊かさと幸せを世の中に提供する。これがMIKAMIが目指す経営理念です。

当社は昭和30年創業の鉄道業界に特化した、車両用部品メーカーです。

1951(昭和26)年、創業者三上豊三郎は純国産資源を活用し熱可塑性合成樹脂を主体とする車両用床仕上材を開発し、1955(昭和30)年に三上化工材株式会社を設立しました。

当時は、リノリウムを用いられた床仕上材が主流で、可燃性で耐寒性および耐久性が低く、火災リスク、取替コストの問題がありました。しかし塩化ビニール床仕上材の開発により、難燃性、耐寒性および耐久性が高く、安全、安価で高品質な床仕上材を世に提供することになりました。



1953(昭和28)年、紡績用針布基布に関する研究成果を発表後、その成果を当時革製品が一般的であった車両用つり革の代替となることに着目し、熱可塑性合成樹脂と特殊織布の併用により、「トヨサンベルト」を開発しました。これにより、当時は革で作られていたつり革が、現在のカラフルなつり手に変わり、電車内の雰囲気を変えることになりました。



1975(昭和50)年より、車両用連結幌の研究開発に着手し、実車実験と試作を経て開発したMK式Wタイプ幌(二重構造)は、30年以上の現車実績があります。耐久性向上、メンテナンスの低減を実現させる独自の幌を開発し、当時の他社製品と比べて2倍以上の寿命があることを証明し、頻繁に取り替えなければならなかった車両用連結幌の問題を解決しました。



創業以来継続するMIKAMIの技術は「鉄道事業者様、乗客の皆様にもっと喜んでいただくには…」ということを考えて、さまざまな組織の方々と連携しながら、枠にとらわれないフレッシュな発想で高めていきたいと考えております。世界に認められ、お客様と共に世界で活躍するMIKAMIとなることを目指し、製品の研究・開発を努めてまいります。



## 会社沿革



1951(昭和26)年

創業者三上豊三郎は熱可塑性合成樹脂を主体とした床仕上材を開発、8件の工業所有権を取得する。

1953(昭和28)年

紡績用針布基布に関する研究成果を発表後、熱可塑性合成樹脂と特殊織布の併用により「トヨサンベルト」を開発。

1955(昭和30)年

三上化工材株式会社および本社工場設立

1956(昭和31)年

「床仕上材」をアロン化成株式会社(親会社：東亜合成化学工業株式会社)と契約、本格的な量産、販売体制に入る。当製品は日本国有鉄道(当時)特急列車「こだま」「つばめ」に採用される。

1971(昭和46)年

「トヨサンタレベルト」が阪神電気鉄道に採用され、その後、阪急電鉄、京阪電鉄、近畿日本鉄道、神戸電気鉄道、日本国有鉄道(近畿地区)に採用される。

1985(昭和60)年

事業拡大につき本社増設  
「Wタイプ幌」が近畿日本鉄道に採用される。

1988(昭和63)年

「バラncer」が阪急電鉄に採用され、その後、営団地下鉄、JR東日本に採用される。

1993(平成5)年

御幣島工場(研究所)設立  
「自動制御幌成型機」が完成

2000(平成12)年

独自に開発した三軸アラミド入り幌地を使用したWタイプ幌が東日本旅客鉄道に採用される。

2014(平成26)年

三上省吾が代表取締役就任  
幌偏奇試験機を導入する。

2019(平成31)年

事業拡大につき本社および工場を東大阪市に新設、移転



## 会社概要

会社名	三上化工材株式会社 (Mikamikakouzai Inc.)
代表者	三上 省吾
設立年月日	昭和30年9月1日
資本金	7,000万円
本店住所	〒578-0943 東大阪市若江南町1丁目1-28
電話番号	06-4307-6671 (代)
FAX	06-4307-6865
URL	<a href="http://mikami-kakouzai.co.jp">http://mikami-kakouzai.co.jp</a>
メールアドレス	support_mikami@mikami-kakouzai.co.jp
取引銀行	みずほ銀行 西野田支店 尼崎信用金庫 西淀支店



## 弊社製品の主な納入先

(順不同)

東日本旅客鉄道株式会社殿  
西日本旅客鉄道株式会社殿  
東海旅客鉄道株式会社殿  
四国旅客鉄道株式会社殿  
九州旅客鉄道株式会社殿  
北海道旅客鉄道株式会社殿  
阪神電気鉄道株式会社殿  
近畿日本鉄道株式会社殿  
阪急電鉄株式会社殿  
京阪電気鉄道株式会社殿  
南海電気鉄道株式会社殿  
大阪市交通局殿  
京都市交通局殿  
神戸市交通局殿  
名古屋市交通局殿  
福岡市交通局殿  
東京都交通局殿  
鹿児島市交通局殿  
東京地下鉄株式会社殿  
西武鉄道株式会社殿  
京浜急行電鉄株式会社殿  
小田急電鉄株式会社殿  
京王電鉄株式会社殿  
東京急行電鉄株式会社殿  
京成電鉄株式会社殿  
相模鉄道株式会社殿  
西日本鉄道株式会社殿  
広島電鉄株式会社殿  
山陽電気鉄道株式会社殿  
叡山電鉄株式会社殿  
近畿車輛株式会社殿  
株式会社日立製作所交通システム社殿  
川崎重工業株式会社殿  
日本車輛製造株式会社殿  
株式会社総合車両製作所殿  
アルナ車両株式会社殿  
新潟トランス株式会社殿  
ジェイ・バス株式会社宇都宮工場殿  
ジェイ・バス株式会社小松工場殿  
三菱ふそうバス製造株式会社殿  
アルナ輸送機用品株式会社殿



**MIKAMI**

## **三上化工材株式会社**

〒578-0943

東大阪市若江南町1丁目1-28

TEL. 06-4307-6671(代) FAX. 06-4307-6865

URL <http://mikami-kakouzai.co.jp>

Email [support\\_mikami@mikami-kakouzai.co.jp](mailto:support_mikami@mikami-kakouzai.co.jp)